

S h i p  
シ ッ プ

第16号  
2024.6

PICK UP 企業

株式会社CDJ  
ホールディングス

目次

- Pick up 企業／会社概要
- 技能実習生についてお聞きました
- 技能実習廃止と特定技能への影響
- フレンドシップ協同組合 スタッフ紹介

## 株式会社 CDJ ホールディングス

強化プラスチック製造

# 会社についてお聞かせください！

## 会社の事業案内



代表取締役 早川 洋文

最初は車、オートバイのFRP、CFRPの部品製造から始まりました。その後、ドライカーボンという素材を取り扱うようになりました。ドライカーボンは軽量、高剛性という部分で評価が高く、ボーイングやエアバス、F1のシャーシから、高級外国車に使われるような素材です。

他社との差別化を目的として10数年前から始まりましたが、高額な材料であり、当時はまだ認知度が低いものでした。

現在は、補修技術、オリジナルパーツの自社開発、製造にて自転車の補修修理がメインとなり全体の8割を占めています。また、3、4年ほど前からはデザインにも力を入れるようになり、塗装はクオリティの高いものを提供することができています。

## ドライカーボンの補修を始めたきっかけを教えてください。

まだまだドライカーボンの認知度が低い中でも、徐々に需要が伸びてきましたが「ドライカーボンが高額な素材」ということが悩みでした。

そして、当時はドライカーボンを使用した部品が破損した場合は「部品を交換する」というものだったので、交換以外の選択肢がありませんでした。

私たちが取り扱っていく過程で「壊れたら交換」というのは、もったいないという思いが生まれた。そこで「直せるなら直したいよね」と思うようになり、独学で技術を磨きドライカーボンの部品の補修を始めました。

取り扱いは車、オートバイでしたが、別の業種からの問い合わせが入るようになりました。実は、ドライカーボンはさまざまな分野で使われており、産業機械のパーツ、スノーボー、スキー板、アーチェリーの弓、ヨットのマストなどがあります。

業種が違って「自分たちで直せるものは直してあげたい」という思いから、直せるものは直していこうということで補修修理が始まりました。



## 自転車の需要は伸びていますか？

元々、自転車に関しては積極的なアクションを起こしていませんでしたが、補修修理を始めた頃、自転車ブームが来て自転車ユーザーが増えてきた時代でした。

自転車のフレームにドライカーボンが使われており、ある時、ユーザーさんから問い合わせをもらったことが始まりとなりました。

この補修修理をきっかけに口コミで広がり、自転車の補修依頼が入るようになり、近くのサイクルショップにもつながり相談に乗るようになりました。

コロナ禍などで自転車の需要は一気に伸びていきましたが、最近では、初心者にとってハードルが高いものとなりユーザー数が減っているように感じています。理由としては、高額であり、初心者が始めやすい価格ではないと分析しています。

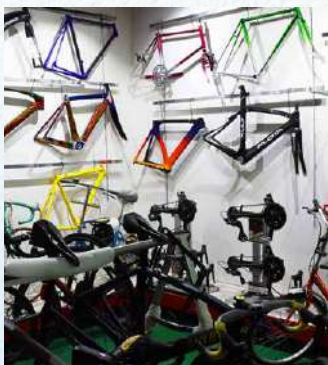
既存のユーザーにしても補修修理は一つの選択肢ですが、部品の価格が高ければ修理、交換というのは容易ではありません。弊社では、ユーザーの力になれることを考えていきたいと思っています。

## 今後の展望を聞かせてください。

人の命に関わる仕事ですから責任感と使命感を持って補修修理をしています。安全に乗ってもらえることを第一に考えています。

そして、部品の値段や納期などいろんな問題はありますが、エンドユーザーの方々が長く愛用できるような提案ができたと思います。

私たちがフレームを何万本と直してきた経験を活かして、さまざまな提案ができることは強みですが、技術は止まることはありませんし、新しい材料も登場してきます。常に勉強ですから、それが形にしていけたら嬉しく思います。





# 技能実習生・特定技能生について お聞きしました。

技能実習生・特定技能生の人数：3人 受け入れの国：ミャンマー・中国

## 実習生の受け入れ状況と仕事について 教えてください。

フレンドシップさんを通して、10年以上前から受け入れをしています。現在は男性3人、中国人が1人、ミャンマー人の2人と一緒に働いています。これまでは中国人をメインにお願いしていましたが、減ってきているためミャンマー人を受け入れています。ミャンマー人の働くところを見ていると、今後はミャンマー人で大丈夫かなと思っています。

仕事内容は、取り扱うカーボンファイバーの積層の部分であったり、いろんなパートを振り分けています。日本人スタッフに指導をお願いして、作業に当たっていますが勤がいいなと思うので、ある程度のことは任せられます。

## コミュニケーションで大事にしていることは ありますか？

最初のミャンマー人の特定技能生が来て、2年になります。国の情勢が不安定だったり、日本に来ることはできるのか?と不安に思うこともありました。

けれど、こうした国の話、政治情勢みたいなことは全くしません。根本的な部分、国民性が違うのではないことにしています。

過去には中国で反日感情が高まったこともありましたが、その時も来てくれている子たちはまじめに働いてくれていましたし、私たちは何も問題はありませんでした。

関わりについては、ビジネスライクといえば冷たいように感じるかもしれませんが、まじめに働いてくれたらそれでいいので、特別なことはありませんが普通に日本人スタッフと変わりなく接しています。

また、言語に関してはミャンマー人の子たちは英語が話せるので、日本人スタッフが指示書の日本語に英語を添えて書いたり、翻訳アプリなどを使って説明をしています。

こうした便利な機能を使うこともありますが、日本語の勉強にも取り組んでいるようです。本当にまじめだなと思います。



## 特定技能制度の良いところを教えてください。

どうしても人手不足という悩みがあります。補修修理は、ほとんどの工程で手作業で繊細な仕事です。

部品の入荷待ちなどもありますが、コロナ禍より前は納期に約1カ月でしたが、今は3カ月ほどかかります。

日本人の雇用は非常に難しく、技術を身につけたいという人材はいなくて本当に厳しいです。

技能実習生は3年サイクルで、任せた仕事をきちんとこなしてくれます。3年はちょうど技術が身に付く頃なので、帰国されるのは弊社としても残念ですが、フレンドシップさんを通して身元がしっかりしている人たちが雇用することができるので、非常に助かっています。

## ミャンマー人の候補者選びは順調ですか？

手作業で繊細な仕事が多いので手先の器用さ、まじめにコツコツ働いて欲しいから勤勉さというのは、人材選びとして外せないですね。

そんな中で、これまで中国人をお願いしてきましたが、今後はミャンマー、インドネシアが対象となるようなので、弊社でもミャンマー人を受け入れています。

しかし、まだミャンマーについての情報がなく、候補者の選考に悩みました。工場での勤務、工具が扱えるという経験者が少ないことを知りました。現在いる特定技能生の子たちは、車の整備の経験があるということで採用しています。

これからもいろんなことが分かってくると思いますが、まずは「器用で勤勉な人」がいたらいいなと思います。

## 特定技能生に期待していることを教えてください。

良い人材を確保できるという点では、本当に助かっています。国の制度の見直しなど、今後変わってくることもあると思いますが、制度を利用して必要な人材を確保したいという考えです。

弊社の仕事は難しくありませんがコツがあり、ノウハウを覚えることがあるので、それまでは大変かなと思います。

そして、繊細な素材で失敗が許されない仕事であるということを理解してほしいですね。過去には理解できなかった子を返したこともあります。それくらい技術に対して厳しくするところはあります。

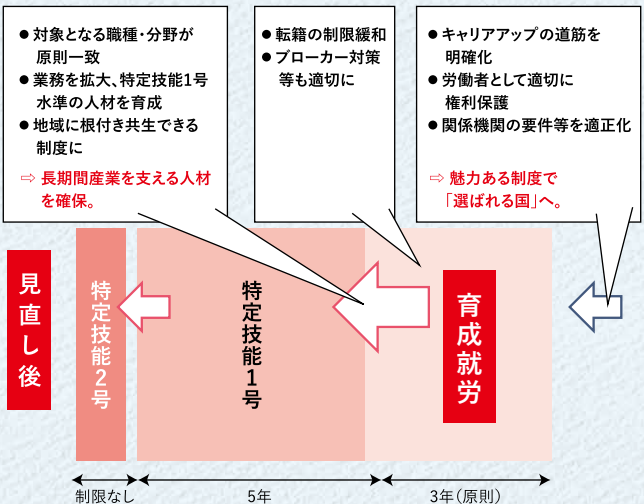
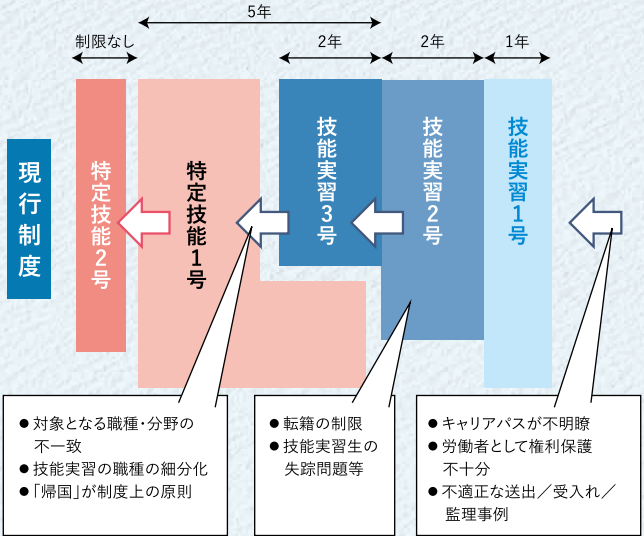
デザイン、センスは向き不向きがありますが、丁寧な物の扱い方、働き手として大事なことを理解できる人たちに来てほしいですね。



# フレンドシップ協同組合

## 技能実習廃止と特定技能への影響

技能実習制度が廃止され、新たに育成就労制度が導入されることになりました。2024年2月9日の政府方針により、2027年から開始される予定です。なお3年間の移行期間を設ける方針があると報じられており、新制度への完全移行は2030年頃になる見通しです。





PANN EI PHYU パン イ ピュ

- 出身国／ミャンマー
- 部署／業務課
- フレンドシップに入って  
どのくらい／4ヶ月

□仕事内容

外国人実習生の管理  
生活指導及び通訳等

□趣味

音楽を聞くこと



□フレンドシップで学んだこと

以前は、自分が知らない人や自分と合わない人たちと話すことが苦手でした。しかし、フレンドシップ協同組合で働き始めてから、それをすべて克服することができました。

フレンドシップ協同組合のスタッフは皆、優しいだけでなく、高い教育水準と素晴らしい性格を持っています。私がフレンドシップ協同組合に採用されたことは、とても貴重な機会だと感じています。さらに、フレンドシップ協同組合で働くことで、毎日貴重で素晴らしい体験をさせていただいています。

□これから挑戦してみたいこと

フレンドシップ協同組合がもっと成長できるよう自分が頑張っていきたい。

フレンドシップの情報誌

会報誌“Ship”  
バックナンバー公開中!

No.1～ No.15(2024年6月現在)





# 組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城

## フレンドシップ協同組合

フレンドシップ協同組合は「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っても実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣 人は城」をも併せて総合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたい思います。



〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目11番31号グラスシティ栄5F

TEL: 052-262-3500 (9:00 ~ 18:00)

FAX: 052-262-3501

URL: <https://friendship.or.jp>



冊子、パンフレット、ポスター、ホームページ作成等のご検討の方はこちらまでお気軽にご連絡ください。

☎ **052-990-2751** ✉ [info@les-champs.fun](mailto:info@les-champs.fun)

[Ship No.16] / 2024年6月15日(年4回発行)、発行所/フレンドシップ協同組合、発行人/溝渕 和典、制作・編集/株式会社レシャン出版、ライター/長谷川 祐子